

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	重粒子線治療を行った脂肪肉腫患者における PET/CT と MRI による治療効果判定の比較の検討
	研究対象者	脂肪肉腫と診断された患者さんのうち、2022年12月までに重粒子線治療を受けた患者の方
	研究目的	重粒子線治療は脂肪肉腫に対する有効な治療法の一つです。画像評価による治療効果判定には PET/CT や MRI が用いられることが多いとされていますが、両者の優位性は明らかではありません。本研究では PET/CT の SUVmax(standardized uptake value)や腫瘍代謝体積(metabolic tumor volume:MTV)、総糖代謝量(total lesion glycolysis:TLG)、MRI の ADC(apparent diffusion coefficient)を用いて、各パラメータの優位性を後視的に検証します。
	研究方法	当院で重粒子線治療を実施した脂肪肉腫の患者さんを対象とします。
	個人情報保護	提供される患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます。
	研究期間	西暦 2023 年 1 月 16 日～西暦 2026 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック [X]が入った項目を利用します)	[_]試料:	[_]血漿、[_]血清、[_]全血、[_]末梢血から抽出した DNA、[_]病理検体(具体的に記載:____)、[_]尿、[_]糞便、[_]唾液、[_]胸水、[_]腹水、[_]脳脊髄液、[_]毛髪、[_]その他(具体的に記載:____)
	[x]情報:	[x]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[x]年齢、[x]性別、[x]既往歴、[x]併存疾患、[x]外来日・入院日・退院日、[x]臨床検査値、[x]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[x]臨床所見・経過 (予後追跡データを含む)、[x]看護記録 [_]その他(具体的に記載:____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	放射線治療科 青木淳
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター 放射線治療科 青木淳	